
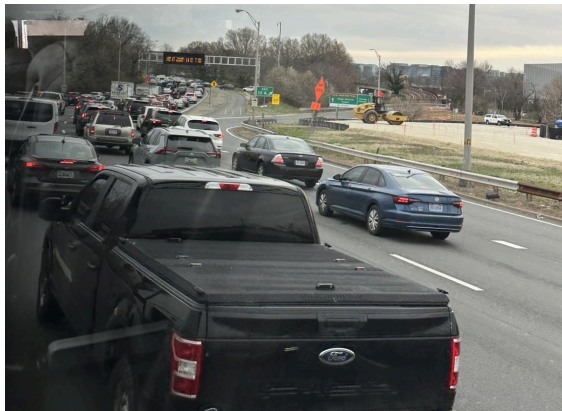



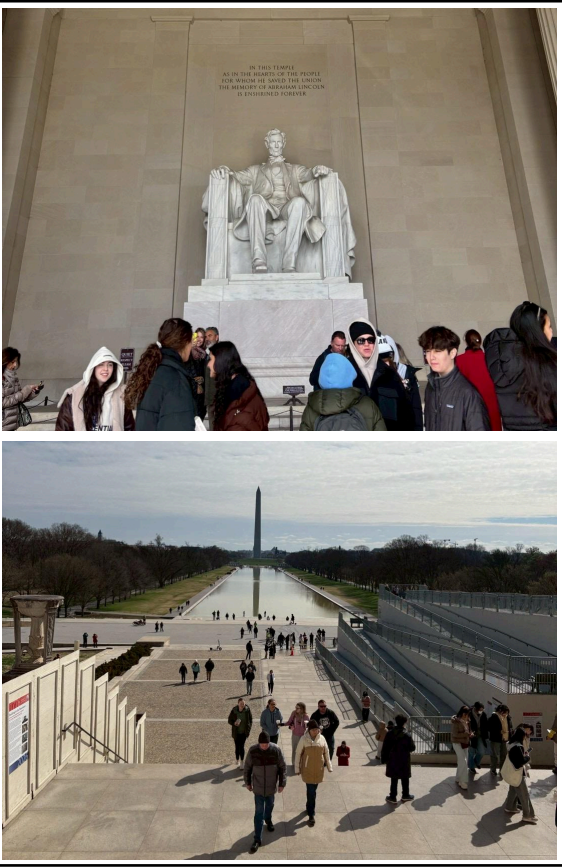

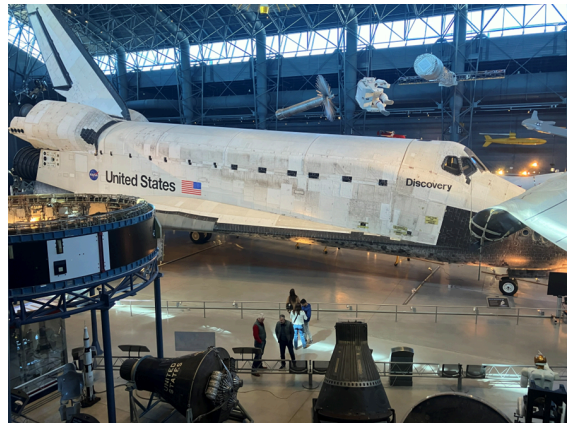


SEG記録【第4日目 2026年3月18日(水)】 担当:プレゼン4班

時間	コメント	写真
7:00	<p>ワシントンD.C.で迎える最後の朝食。SEGも中盤に入り、みんなアメリカでの生活にだいぶ慣れてきたように見える。朝食を終えると荷造りをしてホテルを出発し、次の目的地であるリンカーン記念堂へ向かった。途中、体調を崩してしまったメンバーもいたが、みんなで声を掛け合いながら支え合い、SEG後半戦も乗り越えていこうという気持ちが強まった。</p>	
9:00	<p>バスに乗り込み、マサコさんのガイドを聞きながらホワイトハウス方面へ向かう。高速道路沿いの家々にはどれも煙突があり、電線や高いビルがほとんど見えない景色が続いた。途中で少し渋滞に巻き込まれたが、D.C.では車通勤の人が多く、毎朝渋滞が起きるのが日常らしい。</p>	
9:40	<p>ホワイトハウス周辺に到着。バスの窓越しにホワイトハウスを眺めると、警備車両がずらりと並び、その厳重さが印象的だった。ホワイトハウスには132の部屋があるが、来賓として宿泊したことがあるのはエリザベス女王だけだという話も聞いた。</p>	
9:50	<p>近くのお土産店にも立ち寄り、Washington D.C.と書かれたグッズや、桜をモチーフにした商品が多く並んでいた。</p>	

<p>10:10</p>	<p>再びバスに乗り、キング牧師のメモリアルへ向かう途中、ワシントン記念塔やジェファソン・メモリアルが見えた。ジェファソン・メモリアルにはトーマス・ジェファソンの立像があり、バスからでも黒いシルエットがはっきりと見えた。キング牧師のメモリアルでは、「絶望の山から希望の石を切り出す」という言葉を象徴する巨大な岩の彫刻が印象的だった。</p> <p>キング牧師の像は真正面ではなく、少し右に視線を向けているのが特徴で、みんなでそのポーズを真似して写真を撮った。</p>	
<p>10:20</p>	<p>リンカーン記念堂を訪れた。記念塔近くのトイレに立ち寄ったところ、女子トイレは半分以上の個室に鍵がなく、外側から押さえてもらわなければならない状況だった。リンカーン記念堂を訪問した。その後、11時40分までは自由行動となった。記念堂の外側の白い縁には、リンカーンが南北戦争を経てアメリカを統一したことを記念し、当時の48州の名前が刻まれているという。リンカーン像の左側には「人民の、人民による、人民のための政治」の一節が、右側には大統領演説の全文が刻まれていた。写真を撮ってもらおうと声をかけた外国人女性は、日本で英語の先生をしていたことがあるそうで、気さくに応じてくれた。記念堂の前には川が広がり、ワシントン記念塔の影が川幅とちょうど重なるように設計されていると聞き、改めてその精巧さに驚かされた。川の周りにはリスの姿も見られ、自然と触れ合うひとときにもなった。</p>	
<p>11:40</p>	<p>次に航空宇宙博物館を訪問した。広島に原爆を投下したエノラ・ゲイ号をはじめ、歴史的な戦闘機が数多く展示されていた。写真にあるスペースシャトル「ディスカバリー号」は特に迫力があり、打ち上げの瞬間の映像を見られるコーナーもあった。昼食にはハンバーガーを食べ、本場アメリカの味をしっかりと堪能した。航空宇宙博物館の見学を通して、原爆や戦争の悲惨さを改めて感じ、歴史を学ぶ意義を強く意識する時間となった。</p>	



15:00

その後、ダレス国際空港へ向かった。保安検査では飲み物を捨て忘れて引っかかる人も数名いたが、全体としては非常にスムーズに進んだ。搭乗ロビーには売店が多く並び、私は「THIRST QUENCHER」という飲み物を購入した。水より安かったため試してみたところ、みんなで飲み比べた結果、オレンジ味が一番人気だった。スターバックスやハンバーガー店に立ち寄る人も多かった。飛行機は予定より遅れて離陸し、機内ではほとんどの人が疲れて眠っていた。こうしてボストンへ向けて出発した。



20:00

ローガン空港に到着。到着は遅れたものの、ホテルには予定通りの時間に着くことができた。バスで移動し、ホテルにチェックインした後、配られた夕食のサンドイッチを食べた。近畿日本ツーリストの方から「量が少ないかもしれない」と聞いていたが、実際には十分な量で、しっかり満腹になった。

